

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成	年	月	日
事業所名				
ユニット名				
事業所番号				
記入者名	職名		氏名	
連絡先電話番号				

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	事業所の音楽療法は、もう少しの具体的な取り組みが必要。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	大家さんをはじめ 行事の時に近所の人々の参加を呼びかける。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	町内や、近くのホームの夏祭りなど参加できると良い。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	同じ地域のグループホームへの行き来をすることで、おたがいの気持ちの支えあいが出来ると良いです。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	去年の外部評価をもとに、食事前の手洗い、ケアプランの見直しなどを行っています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そのでの意見をサービス向上に活かしている	大家さんの畑を借りて、夢道場の子供たちや会員の人たちと一緒にしています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターのケアマネさんが来訪されたり、空状況などの電話などもして頂いています。	○	地域包括センターのケアマネさん等から、いろいろ教えてもらったり勉強会などしたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護センターで、金銭管理をしてもらっている人がいる。ので援助員さんの面会もあります。	○	権利擁護センターの意味は朝礼やスタッフ会議のときに内容などの説明はしている。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	特に夜間職員が一人になるときの防止に気をつけ、朝の申し送りに注意しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>地域マネージャーと管理者同席で説明をしているが職員たちにも細かい点については、聞いたことを伝えています。</p>	○	<p>せめてリーダーの人達も立会い出来ると良い。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>認知の爲難しい部分はあるが、マネージャーが時々来られます。ので其のときに話しをします。</p>	○	<p>定期的にマネージャーが来られると良い。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>清華通信を2ヶ月に一度おくります。その他金銭の明細通知領収書なども送付しています。また様子なども電話でお知らせします。</p>	○	<p>職員の担当があるので、特変の場合は担当者からのほうが、その人の事が良くわかりよい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱を設けている。 又年1回家族会を開いて意見を聞く機会を持っています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議を開き、月1回の管理者会議の報告などを行っています。</p>	○	<p>直接の機会がないので、会社との運営面の話しは直接あると良い。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>朝夕の忙しく事故など起き易い時間帯には、必ず2人職員が居るよう調整している。また、ホールの見守りはかかさずしています。</p>	○	<p>何時でも何処にでも出掛けられる、ようにはしている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動は特にないが、やはり入退社が激しい為、難しいです。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1～順番に実施している。社員教育がある。職員は、休みを利用して参加していただける方向に向いています。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	極力情報提供は沢山しているが、個人に任せています。	○	勤務時間内に行けるよう工夫をしてもらえると、もっと参加しやすい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	忘年会、食事会を年1回してコミュニケーションをはかっています。	○	お茶会や、食事会を、もう少し増やしたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	地域マネージャーは巡回しているも運営者は現場を理解していただけると嬉しいです。	○	現場を理解してもらえる人が欲しい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>困ったときは個々に話しは出来る雰囲気作りはしているし、話しは聞くようにしています。</p>	<p>○</p> <p>ゆとりの時間があれば、もっと個人と個人が別の場所で話しができる。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居当時はこまめに情報を連絡しています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人どうしたいかを聞き、其の後家族に連絡をとり、話をしています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>まず本人がホームを見学した上で気に入ってもらえばお試し期間はあるのでそこから始めてもらうのも、1つの方法です。</p>	<p>○</p> <p>お試し期間は別の居室があると良い。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>10時・3時・のおやつ時又食事のときは一緒に座るので、其のときは特にお話するようにする。また料理の仕方なども一緒にする中で教えてもらう事はあります。</p>	<p>○</p> <p>台所がもう少し広いと利用者様も一緒にできる。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に見えたときは居室にて一緒にお茶を飲んでもらったり、飲食してもらっている。又外出もしていただいています。	○	生活保護や家族がいない方でも支えられる関係の方が、いると良い。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会を年1回開いています。 其のときは、いろいろな方が来ていただけています。 お孫さんひ孫さん)	○	1階2階と別々に、年2回～3回は家族かいを開きたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙を出したり、電話をしてもらったりしている。またあまり長期間着ていただけない家族には、電話を入れている。	○	公衆電話的なものがあり、自由にかけることが出来ると良い。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	出来るだけ孤立しないようにしている。 食事のときの席がえ等にも、工夫しています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	お正月、夏にははがきを出して、いつまでもつないでいける様心掛けています。	○	時々訪問できると良い。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>問題が出た時点で本人の意向を聞き、どうしたら良いか話あいをするようにしています。</p>	<p>○</p> <p>問題が起きなくても、個々に気が付いた時点で話しあいが出来ると、尚良い。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活保護の方や独居の方々も多く、生活暦など全て把握出来ないところもあるが、努力しています。</p>	<p>○</p> <p>生活保護や独居の方々の生活をもう少し良く把握して、いきたい。家族も話にくいくこともある。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>朝夕バイタルチェックしているので、体調や職員の人員を含め1日の生活の目安は立てて、行動しています。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や、本人にケアの意向を聞き一緒に話しあいの場はもてないが、話しは極力聞くようにしています。</p>	<p>○</p> <p>家族・職員・本人で一緒に話しが聞けるのは、一番良い。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>朝の申し送り時に、毎日の流れで特に変化のある場合はすぐにカンファを開き立直しをしています。</p>	<p>○</p> <p>期間が短いため家族に来てもらうことは難しいが、本人の意向は聞くよう心がけています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスノートを作り、気づきを記入してそれを基に、見直しをしています。	○	カンファレンスノートとは別に、特に問題のある人は個別のノートを作りいつでも記入できるようにしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	公園の草取り、マーケットの前のゴミ拾いなどは買い物の帰りに、しています。	○	学区の溝掃除などに、出れると良い。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進委員会の参加をお願いしている。今のところ参加はありません		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族が連れて行って下さるのは、前々からのかかりつけの病院は一緒に行ってください。	○	家族が行けない場合は職員が、連れて行く。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医の先生も良く勉強されていて、時々相談にのっていただいています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤ではないが、月2回は看護師が来てくれますので、相談はできる。しています。	○	常勤でないと、中々利用者はなれない
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	提携医の紹介が入院病院なので、何かと都合も良いし、安心です。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	提携医の先生はもちろんのこと家族とも状況報告をしながら、話し合いを繰り返しています。	○	必ず状態が変われば連絡ノート、又朝朝礼で報告
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>情報提供としてサマリーをわたして細かく情報を報告するようにしています。</p>	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>居室の名札は掲げても良いと言う人のみ掲げている。特に排泄においては気をつけています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>出来るだけ詳しい説明をして納得してわかってもらうように、心掛けています。</p>	<p>○</p> <p>決定的なことを決めつけて話さないよう心がける。本人も意思をひきだす。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員不足で出来ないこともあるが、家中で出来ることを出来るだけ話を聞き進めている。また道場への参加も曜日によって参加してもらっています。<カラオケ・絵手紙></p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>化粧できる人は声掛けにてしてもらっている。訪問理美容も1ヶ月半ぐらいに1度行っている。好みによっては別の理美容に行く人も数人あります。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶を入れたり盛り付けをしてもらったり個人個人によって茶碗を洗ってもらったりふいてもらったりしている。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコ・お酒を飲まれる方は現在、おりません。好みのものは本人の体調に合わせ冷蔵庫に保管しながら、お渡ししています。	○	冷蔵庫などは出来る限り自由に、開閉できると良い。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限りトイレでの排泄を目標にしています。紙パンツの方は、布パンツにといった具合で、徐々に快適な方向に支援しています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴したい人また、夜間に入浴したい人も、出来るだけその人に合わせて入浴してもらっています。	○	1日中お湯を入れておき、好きなときに入浴できるようにすると良いです。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠剤の力を出来るだけ借りないよう、自然にぐっすりやすめるように支援しています。(トイレに起こす時間もその人の排尿パターンをつかみ時間をきめています。)		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	将棋をしたりトランプをしたり、貼り絵をしたりしてその人その人で好きなことをやって過ごせるようにしています。	○	やりたいことを常にやってもらえる状況を作っておく必要がある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほぼ全員管理してはいるが、買い物したい人また自分でお金の支払いができる人については、買い物に行くとき本人に財布を持って頂きます。	○	自分で持っている人は、ホーム側には無くなって責任は持てないものとして、自分で持っている人もいる。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物したい人については、職員同行で出掛けたり、趣味に応じて夢道場に行くこともあります。	○	職員がもう少し居れば、外出は可能です。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	たまに図書館など行くこともあるが、家族と一緒に出掛けることはありません。バスツアーは職員と1対1で出掛ける事もあります。	○	家族の方が、連れて行っていただくと良いですが・・・せいぜい喫茶店とか近くのデパートなどがあります。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい人や、手紙を出したい人には、便箋や封筒を用意したり投函はお手伝いし、支援しています。	○	手紙を書く日など決めるのもいいかな。正月には年賀状は書いている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者の方たちには、挨拶をし又来ていただくように言葉がけをしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は、全くありません。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には、入居者個人の判断で鍵を取り付けている方もありますが日中は玄関の鍵は危険を考えて、かけています。が 外からは、自由にはいれます。	○	もともとは鍵はかけたくないですが、安全を考えた上の仕方ないことです。建物の立地条件で危険のないところなら、開放しても良いとは思いますが。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1階の入居者さんが2階にこれば、内線連絡で所在確認している。今誰が何処にいるか8人は把握することには努めています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	廊下きょうゆうのところは難しいが、居室においては、心がけています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故、ヒヤリのあとは、皆で話し合い、もう一度見直しをします。(再度事故が起こらない様にします。)	○	何故を常に考えるように心がけています。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	市町村の応急法のの講習を受けるように進めています。	○	講習に行っている人は数人いる。これからももっと、行って欲しい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難訓練をして、消火器の使い方消防署への通報の仕方を、ならいました。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクアセスメント、作成中です。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックをはじめ又朝礼のとき申し送りを聞き、注意するように勤めます。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の一覧表を作っている。又、1ヶ月の薬の種分けするときも理解しながら行っている。特に便秘の薬においては、朝の申し送りのときに、体調を報告して調整をしています。	○	自分で服薬できる人は自分で出来る様支援しています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事については、出来るだけ根菜類の多いメニューにしたり、水分を多く取ってもらったりしています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月1回の歯科医が来てくれて口腔ケアをしています。又食事の後は歯磨きを職員と共にしています。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本社から来る献立を参考に、栄養のバランス等をつけています。又1日の水分量も1日1000ccから1500ccぐらいに達するよう心がけています。	○	水分量の少ない人についての、取り組みを皆で話し合いたい。また看護師との相談も必要。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは全員が接種している。あとは手洗いの徹底に気をくばっています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	買い物は毎日行っているが、其の日にしようするものは其の日に購入できた方が良い。台所の調理器具等は消毒し、きちんと管理している。布巾は毎食後消毒しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭に近い雰囲気づくりに心掛け花など沢山植えて、施設ばくなくふうしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事などの写真をはったり、季節感を感じさせる飾り付けをしている。トイレは解りやすくパンダの絵が貼り付けてあります。	○	トイレは2個しかないので、混雑がある。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	階段や廊下には小さなテーブルや椅子を置き一人になってほっとできるように、しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	タンス・椅子・などは家で使っていた物を、もっ てきてもらいます。茶碗・箸・湯のみなども持っ てきてもらっています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎朝居室の窓を開け、換気するようにしてい ます。	○	利用者さんに合わせた温度調節に心掛け ています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	廊下には、手すりが付いており、足の不自由な 方でも安心して歩ける様に、なっています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	出来ることを沢山見出してあげる。それを生 かして自信をつけてもらっています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	外回りの草取りをしたり、花を植えたり水 やりをしています。	○	野菜作りも時々するが、定期的に作ると 良い。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎朝のラジオ体操、歌、ハンドベルを使ったレクリエーションをしていること。時々ですが夢道場へ参加し、カラオケ・絵手紙を地域の人たちと行い、交流していること。